

OS交配

●ハウス●9月～3月定植 ●越冬・促成・半促成・無加温

キュウリ



# みれい 705号

●ウドンコ病・褐斑病・ベト病に極めて強い ●高品質かつ多収性

**複合耐病性**

摘芯栽培・つる下ろし(更新型)栽培可能

**肥大良く、流れ果少ない  
果形の安定性高い**



株式会社 埼玉原種育成会





OS  
交配

# みれい 705号

## 特性と栽培のポイント

### 特性

- ◎ウドンコ病と褐斑病の双方に耐病性 ベト病にも比較的強い
- ◎分枝性は程良くオーソドックスな摘芯仕立に対応 つる下ろし(更新型)栽培も可能

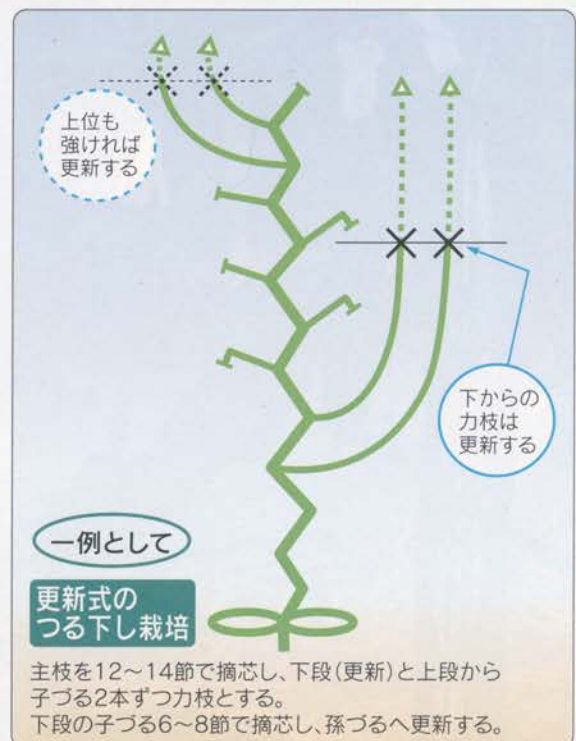
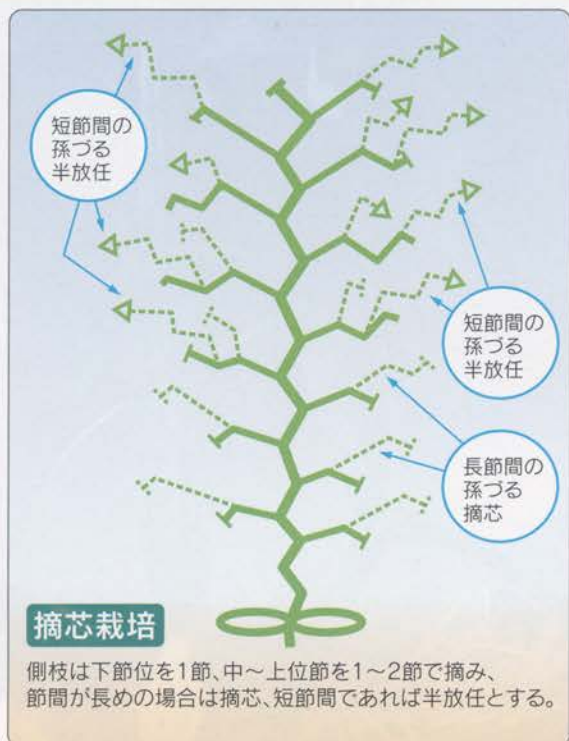
適作型	ハウス:9月~3月定植 越冬・促成・半促成・無加温
雌花率	主枝:9月~10月定植 30%~40% 11月~3月定植 70%~80% 側枝~孫枝以降は雌花率が高まる 1節1~2果成り
草姿・草勢	葉はやや濃緑色、大きさは中位 側枝~孫枝~ひ孫枝と順次発生する 常に雌花の肥大を伴いながら発生するため、繁茂しにくい 初期生育は、 がっちりした草姿・草勢であるが、生育が進むにつれ、伸びやかで旺盛な生育をする
果実	肩から尻までのまとまりが良く、果形の安定性が高い 果長はやや長め100g 21~ 22cm、濃緑色で光沢良好 イボの大きさ普通 食味・食感が良く、店持ち性も良い
収量	初期から末期まで果実肥大が良く、主枝果~側枝果~孫枝果と順次肥大し、 流れ果が少ないため安定した収量構成を示す つる下ろしの場合、適当な2果成り性があるため収量の山谷が少ない
耐病性	ウドンコ病・褐斑病の双方に強く、ベト病にも比較的強い

### 栽培のポイント

**側枝の発生は強いが、雌花率高く、果実肥大も早い**ため、しっかりとした樹作りが必要。初期生育が草勢強くない場合は、主枝下節位の雌花数を制限する。

- 定植から活着、伸び盛り、収穫始まるまでは基本的な肥培管理で、徒長させずに旺盛な生育を図る。
- 摘芯栽培の場合、主枝果実~側枝果実の連続肥大時期までの草勢に合わせて、摘芯の強弱を考慮する。
- つる下し栽培の場合、作型や栽培環境を考え、仕立て方を選択する。基本、下からの力枝は更新する。
- ブルームレス台木は、OS交配 ゆうゆう一輝(黒タイプ)、オールスター一輝、RK-3、FGYが適する。
- ブルーム台木では、ウルトラ南瓜、ウルトラG南瓜、ウルトラ9B南瓜が適する。

### 仕立て方の例



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元  
株式会社 **埼玉原種育成会**  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元  
株式会社 **シード**  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407